



カウンセリングだより

保育観察エッセイ②

はったつがみえるよ!

～ふんかのこどもたち～

キンダー・カウンセラー
園村 和代

♪ 幸いにも、私はキンダー・カウンセラーとして、子ども達の中に入って一緒に遊ぶことができます。毎月1回の訪問で、触れ合う時間は限られていますが、頻度が少ない分、子ども達の成長を感じられることが多く、毎回生き生きとたくましく変わっていく姿がとっても楽しみです♪

2学期の相談日は

9月14日(火)・10月12日(火)・11月9日(火)・12月14日(火)

の月一回火曜日です。どなたでも、お気軽におこし下さい。

子育て支援室「ふんかベビーカフェ」の開放は緊急事態宣言延長のため、お休みしています。

感染状況が落ち着きましたら、毎週月曜日に再開しますので、乳児の子育て中のお母さん、お茶を飲みながら育児相談や情報交換をして、ぜひ親子でリフレッシュしてください!

日中は、まだまだ夏の暑い日が続いていますが朝晩はだんだんと過ごしやすくなってきましたね。今年度は、引き続き感染予防対策に気をつけながら、お子様と過ごされた夏休みであったのではないかと思います。長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が幼稚園に戻ってきました。

年長さんは、お泊り保育を経験して自分の身の回りのことは自分で行うことや、先生やお友達とのつながりでルールを守り、協力して過ごすという経験の中で、一回り大きく成長されたのではないかと感じています。

年中さんは、お友達に思いやりの言葉を伝えて手助けをしている場面を、よく見かけます。集団生活を通して、ルールに従い生活できたり、あそびの盛り上がりの中でお友達を多面的にとらえて、言葉のやり取りを通じて思いを表現できるようになっているのでしょう。

年少さんは、はじめての集団生活の中で、新しい活動に挑戦してできることがたくさん増えました。お友達と同じ遊びに興味をもち、順番を守ったり、声をかけあい、おもちゃの貸し借りをしている姿をみかけることができました。

今年度、子どもたちが「まだ、花が咲かないかな?今日はどんな感じかな?」と毎日観察して、一生懸命育てていたあさがおを育てる様子を見せていただき、気付いたことがあります。植物は、太陽が照り、水や肥料を適度に与えて見守りをしていくことで、種はぐんぐんと育ち、個性に合わせて花を咲かせていきます。植物の種のように、子どもにも子どもの数だけたくさんの個性があります。その個性を伸ばすには「得意なことを一緒に探して、そのことに働きかけていく」という親御さんの声かけにより、たくさんのやり取りがスムーズになるという事ができてきます。それぞれの子どもの持ち味を関わりの中で感じて、じっくりと育てていくという事が必要なのではないかと感じています。

2学期も、月1回保護者の皆さまとの個別相談や、園児たちとあそびを通して関わっていきます。大きな悩みでなくても、ちょっとしたことでも話せる子育て相談のように思ってください。お子様のことだけでなく、ご家族のことやご自身のことなども相談にのらせていただいております。どうぞ気軽にご利用くださいね。通常カウンセリングは1時間(無料)です。個別相談の秘密・情報は守られます。ご安心ください。お待ちしております!

キンダー・カウンセラーとして、毎月1回、蛭池文化幼稚園を訪問しております臨床心理士の園村和代と申します。普段は大学の相談機関で就学前のお子さんと保護者の方の子育て支援をしながら、兵庫県や大阪府の幼稚園でキンダー・カウンセラーをしております。保護者のみなさまが、お子さんとどう関わったらいいのかな?など子育ての悩みや、お友達同士の間わりや園生活の心配などの相談にのらせていただいております。費用は園負担ですので無料です。また、園児の保護者以外の方も参加可能です。来園が難しい方には、出向いて相談を受けることも可能です。どんな些細なことでも「ちょっと聞いてみたいな〜」「こんなときどうしたらいいかしら」というときに、お気軽にお越しください。